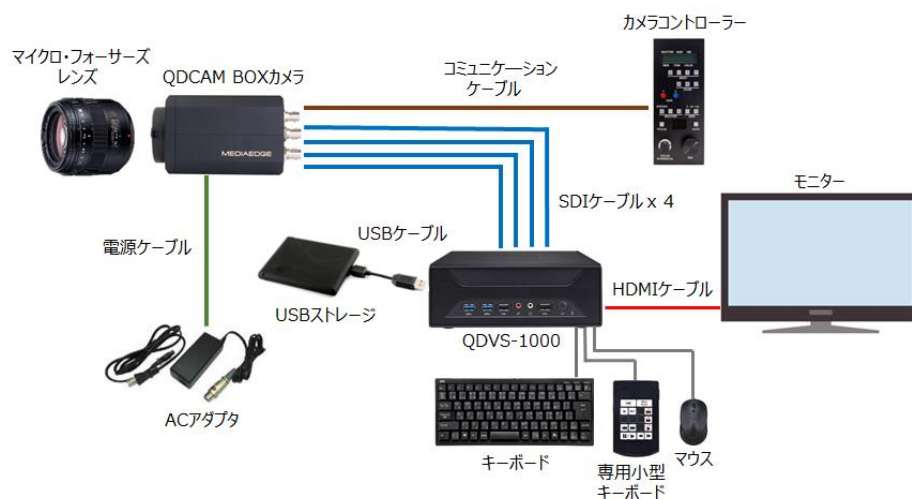


I-1. 機器の接続、起動と終了、操作の流れ

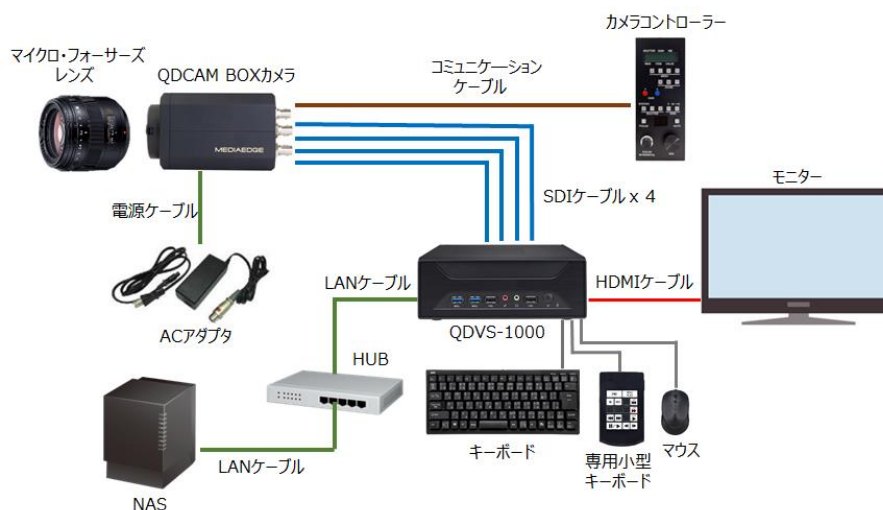
■ I-1-1. 機器の接続

以下の接続例を参考に、運用に合わせて QDCAM 機器と QDVS-1000 を接続してください。

1、録画データを本体に接続した USB メモリや USB ストレージに保存する運用

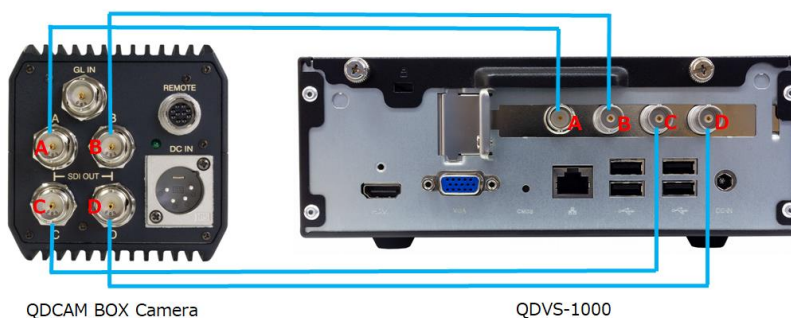


2、録画データを NAS に保存する運用



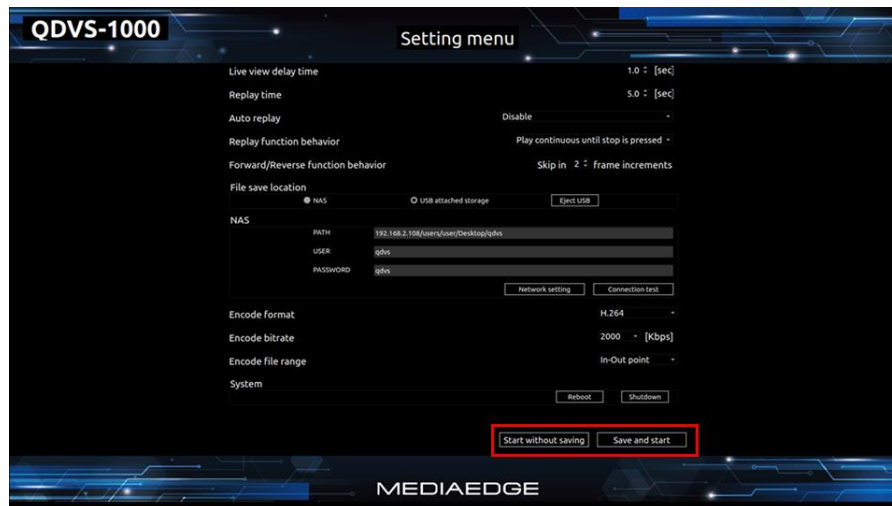
■ I-1-2. SDI ケーブルの接続について

同じ記号の端子同士（A-A、B-B、C-C、D-D）を接続します。



■ I-1-3. 起動

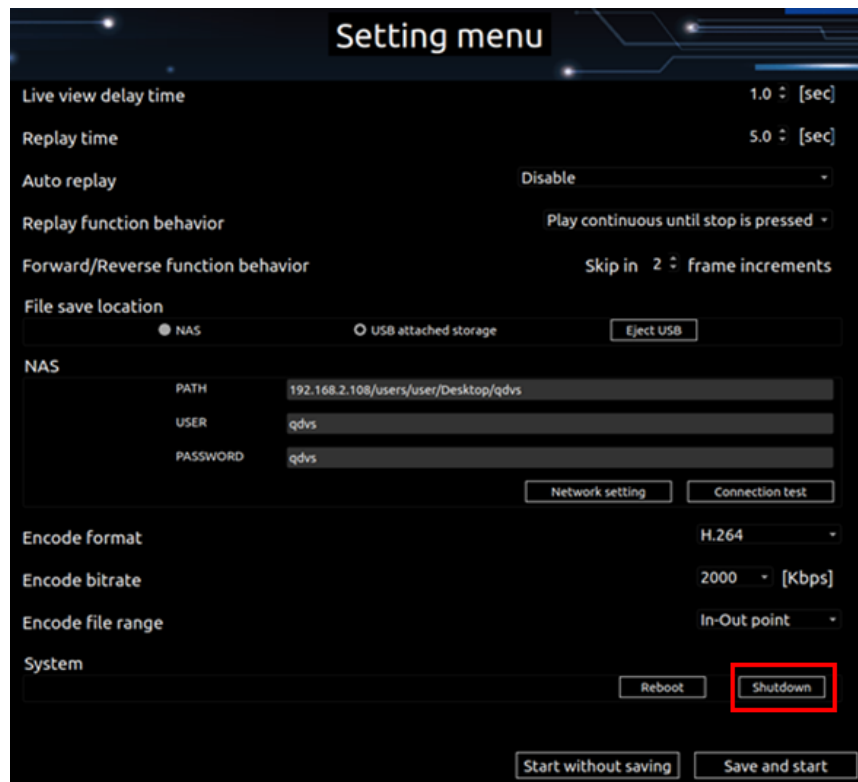
本体に電源ケーブルを接続し、前面の電源ボタンを押すと、システムが起動し設定画面が表示されます。操作に合わせた設定後、画面の右下にあるスタートボタン(Start without saving, Save and start)を押すと、プレイヤーが起動します。



設定画面

■ I-1-4. 終了

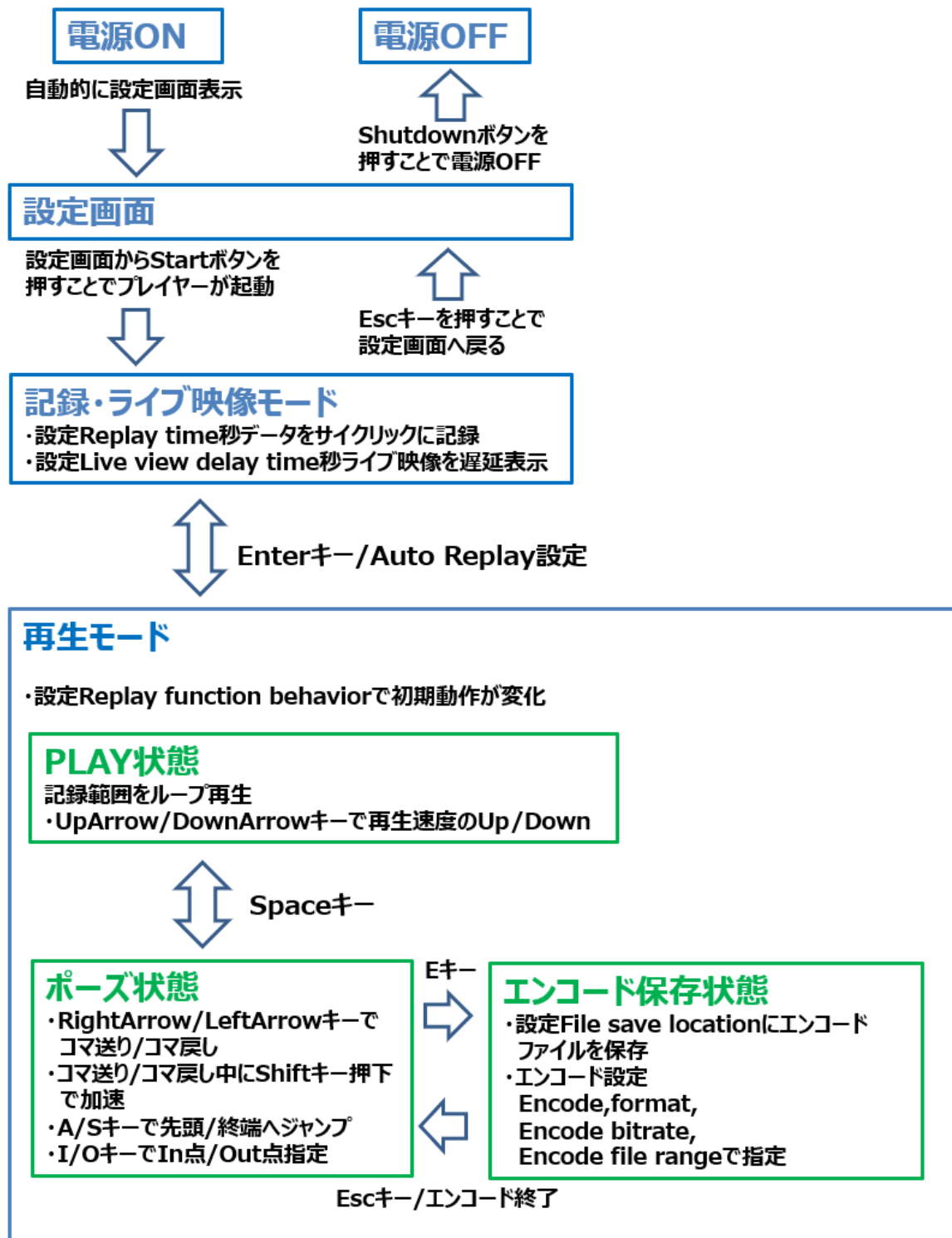
プレイヤー表示中に ESC キーを押すと、設定画面に戻ります。設定画面の右下にある、「Shutdown」ボタンを押してください。ボタンを押すと、確認ダイアログが表示されますので、OK を選択すると終了します。



設定画面

■ I-1-5. 操作の流れ

電源投入からの操作の流れは下記の通りです。

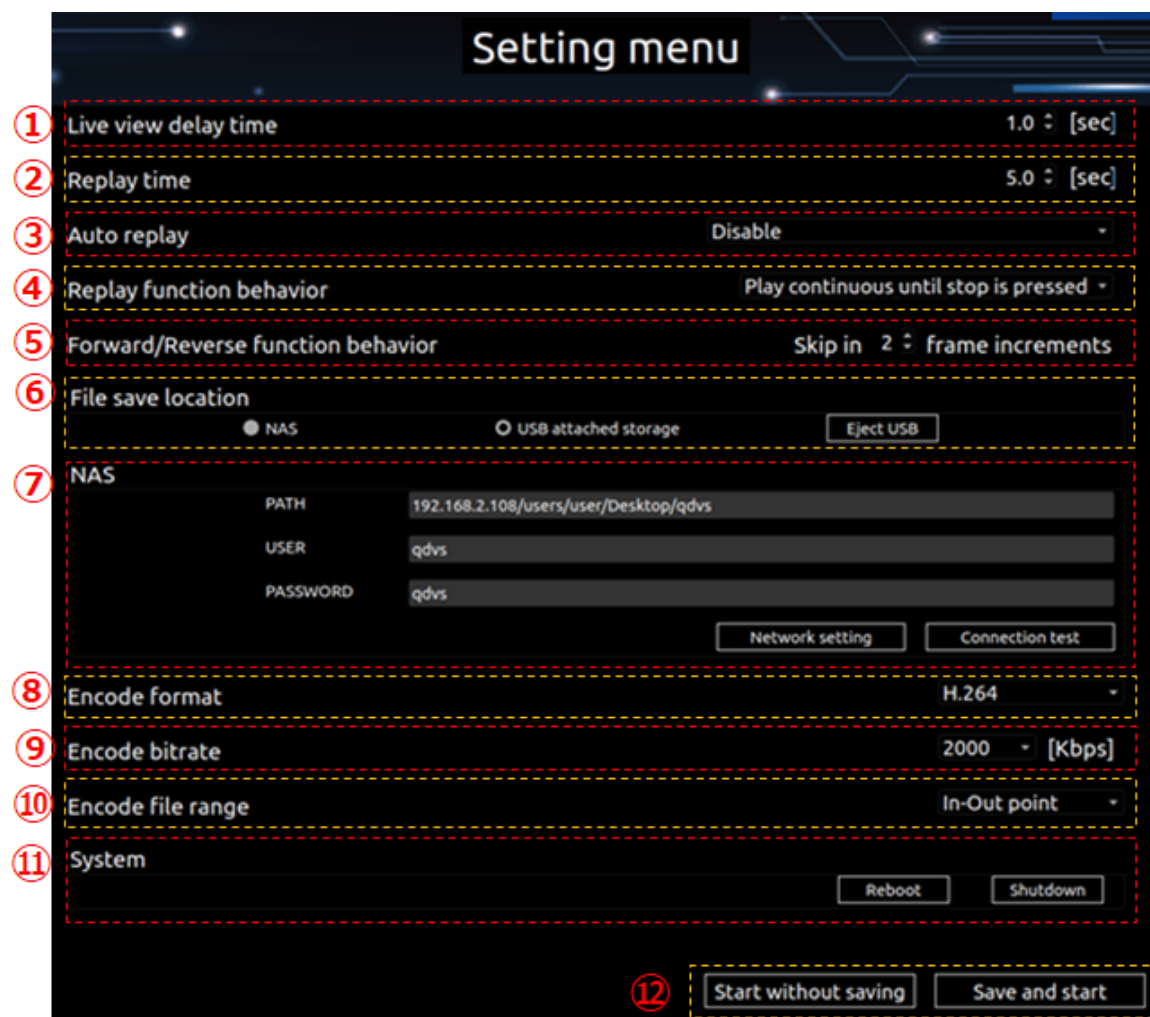


動作モード遷移

I-2. 操作説明

■ I-2-1. 設定画面

本体が起動すると、自動的に設定画面が表示されますので、操作に合わせた設定を行います。



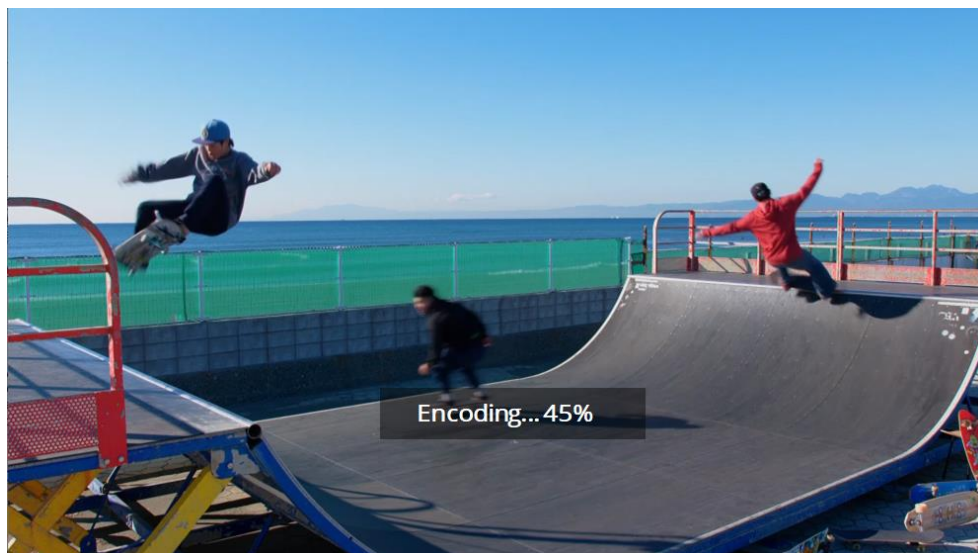
①	Live view delay time	ライブ映像表示の遅延時間を秒で設定します。
②	Replay time	記録時間を秒で設定します。
③	Auto Replay	記録時間分データが溜まったら再生モードへ自動で遷移するかの有効・無効、および再生終了後の動作を設定します。 Disable : 無効。 Enable - Stop at last frame after replay : 有効。再生終了後、最終フレームでポーズ。

		Enable - Return to live view after replay : 有効。再生終了後、記録・ライブ表示モードへ自動で戻る。																					
④	Replay Function behavior	再生モードに入ったときの動作を選択します。 Stop on last frame captured : 最終フレームで停止。 Stop on first frame captured : 先頭フレームで停止。 Play continuous until stop is pressed : 自動で再生開始。																					
⑤	Forward/Reverse function behavior	コマ送り（左右ボタン）の時に+Shift キーで何フレームずつ進むかの設定。左右ボタンのみでは1フレームずつ進みます。																					
⑥	File save location	NAS/USB、USB ストレージ取り出しボタン。																					
⑦	NAS	<div><p>NAS の設定をします。PATH, USER, PASSWORD 設定例 : NAS の IP アドレスが 192.168.1.100、共有フォルダ名が video の場合 PATH 192.168.1.100/video Network setting ボタン : ネットワーク設定ダイアログを開き、ネットワーク設定の変更が出来ます。</p><div><div><div><div><div><div>○ DHCP ①</div><div>address192.168.2.110/24 ②</div><div>gateway192.168.2.1 ③</div></div><div><div>● Manual IPv4 ④</div><div>addressIP address/mask bit num ⑤</div><div>gateway ⑥</div></div><div><div>⑦Cancel</div><div>⑧Apply</div></div></div></div></div><table><tr><td>①</td><td>DHCP</td><td>IPv4 アドレスを DHCP から取得する場合にチェックします。</td></tr><tr><td>②</td><td>address</td><td>現在の IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で表示します。 ※1</td></tr><tr><td>③</td><td>gateway</td><td>現在の IPv4 ゲートウェイを表示します。</td></tr><tr><td>④</td><td>Manual IPv4</td><td>IPv4 アドレスを手動設定する場合にチェックします。</td></tr><tr><td>⑤</td><td>address</td><td>IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で設定します。 ※1</td></tr><tr><td>⑥</td><td>gateway</td><td>IPv4 ゲートウェイを設定します。</td></tr><tr><td>⑦</td><td>Cancel</td><td>設定の変更を反映せずにネットワーク設定を終了し</td></tr></table></div></div>	①	DHCP	IPv4 アドレスを DHCP から取得する場合にチェックします。	②	address	現在の IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で表示します。 ※1	③	gateway	現在の IPv4 ゲートウェイを表示します。	④	Manual IPv4	IPv4 アドレスを手動設定する場合にチェックします。	⑤	address	IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で設定します。 ※1	⑥	gateway	IPv4 ゲートウェイを設定します。	⑦	Cancel	設定の変更を反映せずにネットワーク設定を終了し
①	DHCP	IPv4 アドレスを DHCP から取得する場合にチェックします。																					
②	address	現在の IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で表示します。 ※1																					
③	gateway	現在の IPv4 ゲートウェイを表示します。																					
④	Manual IPv4	IPv4 アドレスを手動設定する場合にチェックします。																					
⑤	address	IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で設定します。 ※1																					
⑥	gateway	IPv4 ゲートウェイを設定します。																					
⑦	Cancel	設定の変更を反映せずにネットワーク設定を終了し																					

		<table> <tr> <td></td><td>button</td><td>ます。</td></tr> <tr> <td>⑧</td><td>Apply button</td><td>設定の変更を反映してネットワーク設定を終了します。</td></tr> </table> <p>※¹ CIDR 形式：サブネットマスクを 2 進数で表現し、最上位から連続して何 bit が 1 になっているかをもって、「/ビット数」のように表現します。 255.255.0.0 -> /16 255.255.255.0 -> /24 255.255.255.128 -> /25</p> <p>Connection test ボタン： NAS の設定で接続可能かテストします。</p>		button	ます。	⑧	Apply button	設定の変更を反映してネットワーク設定を終了します。
	button	ます。						
⑧	Apply button	設定の変更を反映してネットワーク設定を終了します。						
⑧	Encode Format	<p>エンコードファイル保存時のフォーマットを指定します。 ProRes： ProRes422 MOV ファイルで保存します。</p> <p>H.264： H.264 MP4 ファイルで保存します。</p>						
⑨	Encode Bitrate	エンコードファイル書き出し時のビットレートを指定します(H.264 のみ有効)。						
⑩	Encode File range	<p>エンコードファイル書き出し時の範囲を指定。</p> <p>Playback frames：録画ファイル全体。</p> <p>In-Out point：InOut 点間。</p>						
⑪	System	<p>Reboot/Shutdown ボタン。</p> <p>ボタンを押すことで、システムをリブート又はシャットダウンをします。</p>						
⑫	プレイヤー起動ボタン	<p>Save and start： 設定値の変更を反映させてプレイヤーを起動。</p> <p>Start without saving： 設定値の変更を反映せずにプレイヤーを起動。</p>						

■ 1-2-2. 記録・ライブ・再生画面

1、設定画面で設定を行った後、Start ボタンを押すと、設定に合わせた再生画面が表示されます。



(例) 再生中にエンコード保存を行った時の画面（再生画面は常時モニターいっぱいに表示されます）

2、再生画面が表示された後は、キーボード、マウスによって操作を行います。



使用可能なキー・マウス操作の一覧

Enter	記録・ライブ表示モードと再生モードを切り替える。
D	記録・ライブ表示モード中に押すと遅延時間設定の有効・無効が切り替える（カメラの補正等に使用）。
Space	再生モード中に Play(再生)・Stop(ポーズ)を切り替える。
E	再生モード中にエンコード保存を開始する。
UpArrow	再生モード Play 中に再生速度 Up。
DownArrow	再生モード Play 中に再生速度 Down。
RightArrow	再生モード Stop 中にコマ送り。
LeftArrow	再生モード Stop 中にコマ戻し。
Shift	再生モード Stop 中に RightArrow または LeftArrow と同時押しで Forward/Reverse function behavior 設定フレーム数のコマ送りまたはコマ戻し。
A	再生モード Stop 中に記録データの先頭に戻る。
S	再生モード Stop 中に記録データの終端に戻る。
I	再生モード Stop 中に In 点を指定（再生モード再生時、エンコード保存時の先頭位置）。

O	再生モード Stop 中に Out 点を指定（再生モード再生時、エンコード保存時の終端位置）。
X	再生モード Stop 中に InOut 点をリセット。
Mouse WheelUp	再生モード Stop 中にコマ送り。
Mouse WheelDown	再生モード Stop 中にコマ戻し。

3、同梱の専用小型キーボードでも操作が可能です。



キーボタンに対する動作の説明

①	ENC	エンコードを開始します。
②	REC/PLAY	録画と再生を切り替えます。
③	IN、OUT	IN 点、OUT 点を設定します。
④	1/4▶▶▶、1/8▶▶、1/16▶	スロー再生（1/4,1/8,1/16）を行います。
⑤	◀◀◀、▶▶▶	先頭、最後で停止します。
⑥	◀▶	静止・再生を切り替えます。
⑦	◀◀、▶▶	後方や前方にコマをステップ移動します。

その他の設定や操作の詳細については当社 HP から操作説明書をダウンロードして参照してください。
<https://www.mediaedge.co.jp/>